

令和5～7年度入学生教育課程表

教科	科目	学年	1 年		2 年					3 年						
		クラス	選抜・進学	国士館大学進学	選抜・進学			国士館大学進学	選抜・進学				国士館大学進学			
		類型			文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系	文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系
		標準単位数														
国語	現代の国語	2	2	2												
	言語文化	2	2	2												
	論理国語	4			3	3	3		②		2	2	2		②	
	文学国語	4			2	2	2		②		3	3	3		②	
	国語表現	4														
	古典探究	4			3	3	3		2		2	2	2		2	
	受験国語演習*										1			(1)		
	理系国語*							2								
	国語総合演習*	(1)													2	
	国語合計		4	4	8	8	8	2	4	0	8	7	7	0	6	0
地理歴史	地理総合	2	2	2												
	歴史総合	2	2	2												
	世界史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		③	
	日本史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		③	
公民	公共	2			2	2	2	2	2	2						
	政治・経済	2									(2)				(2)	
	地歴公民合計		4	4	5	5	5	2	4	2	5	5	3	0	3	0
数学	数学Ⅰ	3	3	3												
	数学Ⅱ	4			4	2	2	4		4		2	2			
	数学Ⅲ	3												(3)		
	数学A	2	2	2												
	数学B	2						2		2						
	数学C	2						2								
	理系受験数学*													4		
	受験数学演習*															2
	受験数学ⅠA*										(2)					
	受験数学ⅡBC*										(2)					
	数学ⅠA演習*	(1)														
	数学合計		5	5	4	2	2	8	0	6	0	2	2	4	0	2
理科	科学と人間生活	2			2	2	2		2	2						
	物理基礎	2						2		2						
	物理	4												⑥		④
	化学基礎	2	2						2							
	化学	4						3	2					3		3
	生物基礎	2		2				2			(2)					
	生物	4												⑥		④
	理科演習*													(2)		(2)
	理科合計		2	2	2	2	2	7	2	6	0	0	0	9	0	7
保健体育	体育	7～8	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1	1	1	1	1	1						
	武道*		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保健体育合計		5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
芸術	音楽Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②						
	音楽Ⅱ	2											②			
	美術Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②						
	美術Ⅱ	2											②			
	書道Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②						
	書道Ⅱ	2											②			
	芸術合計		0	0	2	2	2	2	2	2	0	0	2	0	0	0
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3												
	英語コミュニケーションⅡ	4			5	4	4	5	4	4						
	英語コミュニケーションⅢ	4									5	4	4	5	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2	2												
	論理・表現Ⅱ	2			3	2	2	3	2	2						
	論理・表現Ⅲ	2									3	2	2	3	2	2
	英語演習*	(1)													(2)	(2)
	英語合計		5	5	8	6	6	8	6	6	8	6	6	8	6	6
家庭	家庭基礎	2	2	2												
	家庭合計		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報	情報Ⅰ	2	2						2	2						
	情報合計		2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
小計			29	27	33	29	29	33	24	28	24	23	23	24	18	18
総合的な探究の時間		3～6	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2
合計			30	29	34	30	30	34	25	29	25	25	25	25	20	20
特別活動	HR	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

○数字は選択必修科目 () 内は自由選択科目 * は学校設定科目

●3か年履修単位数

選抜・進学	文Ⅰ	89
	文Ⅱ	85
	文Ⅲ	85
	理	89
国士館大学進学	進学文	74
	進学理	78

卒業認定は74単位以上

- ・1年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。
- ・HRは学校行事等を含む。
- ・総合的な探究の時間は学校行事等を含む。
- ・1年の自由選択科目は土曜日に行う。
- ・2年文Ⅰ・理系は土曜日必修授業とする。
- ・地歴の選択必修（日本史探究・世界史探究）は2・3年同じ科目を選択する。
- ・3年理科演習は、物理・化学・生物のいずれか1つを選択できる。
- ・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

令和7年度 高等学校使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2, 3年全文 2, 3年定文選
	文学国語	東書	文学国語	2, 3年全文 2, 3年定文選
	古典探究	東書	精選古典探究 (古文編・漢文編)	2, 3年文
	理系国語	東書	精選論理国語	2年全理
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
	日本史探究	山川	詳説 日本史	2, 3年文選
	世界史探究	山川	詳説 世界史	2, 3年文選
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	政治・経済	東書	政治・経済	3年選
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編 数学Ⅰ	1年
	数学A	啓林館	新編 数学A	1年
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	2年文Ⅰ, 全理
		啓林館	新編 数学Ⅱ	2, 3年文Ⅱ, Ⅲ 2年定理
	数学B	啓林館	数学B	2年全理
	数学B	啓林館	新編 数学B	2年定理
	数学C	啓林館	数学C	2年全理
		啓林館	新編 数学C	3年定理
	数学Ⅲ	啓林館	数学Ⅲ	3年全理選
理科	化学基礎	東書	化学基礎	1年全 2年定理
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年定 2年全理 3年全文選
	化学	東書	化学 (Vol.1 理論編・Vol.2 物質編)	2, 3年理
	物理	啓林館	高等学校 総合物理1、2	3年理選
	生物	東書	生物	3年理選
体育	保健体育	大修館	新高等保健体育	1, 2年
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	2年選
	美術Ⅰ	日文	高校美術	2年選
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	2年選
	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	3年文Ⅲ選
	美術Ⅱ	日文	高校生の美術2	3年文Ⅲ選
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	3年文Ⅲ選
情報	情報Ⅰ	実教	図説情報Ⅰ	1年全 2年定
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
英語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅰ	1年1組 1年定
		啓林館	LANDMARK English Communication Ⅰ	1年全
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard	1年
	英語コミュニケーションⅡ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅱ	2年文Ⅲ 2年定
		啓林館	ELEMENT English Communication Ⅱ	2年文Ⅰ, 全理
		啓林館	LANDMARK English Communication Ⅱ	2年文Ⅱ
	論理・表現Ⅱ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope	2年
	英語コミュニケーションⅢ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅲ	3年文Ⅲ 3年定
		啓林館	ELEMENT English Communication Ⅲ	3年文Ⅰ, 全理
		啓林館	LANDMARK English Communication Ⅲ	3年文Ⅱ
	論理・表現Ⅲ	三省堂	MY WAY Logic and Expression Ⅲ	3年文Ⅲ 3年定
		三省堂	CROWN Logic and Expression Ⅲ	3年文Ⅰ, Ⅱ, 全理

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週 3 時間	教材	精選論理国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年1組 (文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆「ミロのヴィーナス」 ◆「科学的『発見』とは」 小論文 第 一 回 定期試験				◆具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ◆本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 課題文や資料の読み取り方を身につける。			
夏 休 み		★国語科課題				◆読書感想文(校内コンクール) ◆短歌(東洋大学／外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学／外部コンクール)			
前期	9月	◆「分人とは何か」				◆提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。			
後 期	10月～12月	★防災学習 ◆「『リスク』と『リスク社会』」				◆対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。			
		第 二 回 定期試験 「環境」とは何か				筆者の主張を読み取り、理解する。			
冬 休 み									
後 期	1月～3月	◆「消費されるスポーツ」 ◆「地図の想像力」 第 三 回 定期試験				◆筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。 ◆提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。			
備 考	★ 授業の進捗等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★								
	※ 定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。								
	▼ 行事その他の予定を鑑みて、副教材「新版 意味から学ぶ頻出漢字3000」より、漢字の書き取りテストを行う。								
	【第一回 定期試験範囲】 「ミロのヴィーナス」／「科学的『発見』とは」								
	【第二回 定期試験範囲】 「分人とは何か」／「『リスク』と『リスク社会』」								
	【第三回 定期試験範囲】 「消費されるスポーツ」／「地図の想像力」								
	※テストは、学習課題ノートや便覧等事前に指定した副教材からも出題する。また、「新国語問題総演習 四訂版」は自習用テキストとする。								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週 3 時間	教材	精選論理国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年2組(文Ⅰ・選抜) 高等学校 2年4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆「相手依存の自己規定」 ◆「科学的『発見』とは」 小論文 ◆【演習】大学入試問題演習 第 一 回 定期試験				◆対比構造を理解し、筆者の主張を読み取る。 ◆本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 課題文や資料の読み取り方を身につける。 ◆過去問題を解くことで解法を身に付ける。			
夏 休 み		★国語科課題				◆読書感想文(校内コンクール) ◆短歌(東洋大学／外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学／外部コンクール)			
前期	9月	◆「分人とは何か」				◆提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。			
後 期	10月～11月	★防災学習 ◆「『リスク』と『リスク社会』」 第二回 定期試験				◆対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。			
	12月	◆【演習】大学入試問題				◆過去問題を解くことで解法を身につける。			
冬 休 み		別途指示する。							
後 期	1月～3月	◆「消費されるスポーツ」 ◆「地図の想像力」 ◆【演習】大学入試問題演習 第 三 回 定期試験				◆筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。 ◆提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。 ◆過去問題を解くことで解法を身に付ける。			
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★ ※ 定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。 ▼ 行事その他の予定を鑑みて、副教材「新版 意味から学ぶ頻出漢字3000」より、漢字の書き取りテストを行う。 【第一回 定期試験範囲】 「ミロのヴィーナス」／「科学的『発見』とは」／大学入試問題 等 【第二回 定期試験範囲】 「分人とは何か」／「『リスク』と『リスク社会』」／大学入試問題 等 【第三回 定期試験範囲】 「消費されるスポーツ」／「地図の想像力」／大学入試問題 等 ※テストは、学習課題ノートや便覧等事前に指定した副教材からも出題する。また、「新国語問題総演習 四訂版」も適宜使用する。								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週3時間	教材	精選論理国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組 (文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	・評論(芸術)清岡卓行「ミロのヴィーナス」				・ミロのヴィーナスの失われた両腕についての筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。			
	5月	・評論(言語)鈴木孝夫「相手依存の自己規定」				・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。			
	6月	・第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験							
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	・評論(社会)神里達博「リスク」と「リスク社会」 防災について				「リスク」という概念について理解を深め、近代という時代の根本的な性質について社会全体から考える。 リスクマネジメントの観点からも防災について考える。			
	10月	・評論(メディア) 若林幹夫「地図の想像力」 第2回定期試験				・具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取り、近代社会を捉え直す視点を持つ。 ・地図観の違いについての論の展開に注意し、イメージしながら読み取ることができる。			
後期	11月	・評論「環境」とは何か				筆者の主張を読み取り理解する。			
冬 休 み		冬期休暇課題							
後期	1月	・評論(科学)小川真里子科学的「発見」とは				・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方と、その意義を理解する。			
	2月	・評論(環境) 上柿崇英 「環境」とは何か ・第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第3回定期試験				・小見出しに注意しながら読み取り、筆者が「環境」を考える上で重要だと述べていることを理解する。			
春 休 み		冬期休暇課題							
備考		・第1回定期試験範囲: 評論(芸術) 清岡卓行「ミロのヴィーナス」、 評論(言語) 相手依存の自己規定 ・第2回定期試験範囲: 評論(社会) 神里達博「リスク」と「リスク社会」 評論(メディア) 若林幹夫「地図の想像力」 ・第3回定期試験範囲: 評論(科学) 小川真里子 科学的「発見」とは、 評論(環境) 上柿崇英 「環境」とは何か							

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週2時間	教材	精選論理国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組 (国士舘大学進学クラス文系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	○評論〈芸術〉「ミロのヴィーナス」清岡卓行				○筆者の抽象的な表現を具体化して芸術の見方について見識を深め、筆者の実感を論理的に証明していく全体の文章構成を把握する。			
	5月	○評論〈言語〉「相手依存の自己規定」鈴木孝夫				○文章の中で取り上げられている事柄や問題、「自己」と「他者」との関係性に注意しながら、日本人と欧米人とを比較していく文章構成と筆者の主張を理解する。			
	6月	●第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み		夏期休暇課題				・俳句 ・短歌 ・読書感想文			
前期	9月	○評論〈社会〉『リスク』と『リスク社会』神里達博				○ドイツの社会学者であるベックとルーマンの二つの主張を的確に捉える。 ○「制御可能性」と「リスク」の関連について理解を深めて、近代という時代の根本的な性質について社会全体から考える。			
後期	10月	◎評論『リスク』と『リスク社会』神里達博」を踏まえた防災への危機管理について				◎リスクマネジメントの観点からも防災について考える。			
	11月	○評論〈メディア〉「地図の想像力」若林幹夫				○地図についてそれぞれの観点からの意味の違いを読み取りながら、論理展開から筆者の主張を理解する。			
	11月	第2回定期試験							
	12月	○評論「環境」とは何か				筆者の主張を読み取り理解する。			
冬 休 み		冬期休暇課題							
後期	1月	○評論〈科学〉「科学的『発見』とは」小川真里子				○「見ることは解釈することだ」という筆者の主張を、本文中の例である図を文章と共に確認しながら理解する。			
	2月	○評論〈環境〉『環境』とは何か」上柿崇英				○環境について「人間にとっての環境」が何かという筆者の考えを、本文の小見出しに注意しながら社会環境の危機である「持続不可能性」への向き合い方を理解する。			
	3月	●第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第3回定期試験							
備考		※授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合あり ●行事その他の予定を考慮して、副教材「新版 意味から学ぶ頻出漢字3000」より、漢字の小テストを行う ・第1回定期試験範囲: 評論〈芸術〉「ミロのヴィーナス」清岡卓行、 評論〈言語〉「相手依存の自己規定」鈴木孝夫 ・第2回定期試験範囲: 評論〈社会〉『リスク』と『リスク社会』神里達博、 評論〈メディア〉「地図の想像力」若林幹夫 ・第3回定期試験範囲: 評論〈科学〉「科学的『発見』とは」小川真里子、 評論〈環境〉『環境』とは何か」上柿崇英							

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週2時間	教材	文学国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年1組 (文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆【随筆】「雨月物語」木内昇				・随筆における心理描写や情景描写を通して筆者の思いを読み取り、ものの見方を広げる。			
		◆【小説】「山椒魚」井伏鱒二				登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。			
		◆【小説】「あの朝」角田光代				・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。			
		第一回定期試験							
夏 休 み		★課題				・短歌・俳句を創作する。 ・別途指示する。			
前期	9月	防災学習				・過去の災害記録などを参照し、小論文を書く。 ・災害に関する理解を深め、防災に対する意識を高める。			
		◆【評論】「言葉を生きる」若松英輔				・内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考える。			
後期	10月～12月	◆【詩】「永訣の朝」宮澤賢治				・詩にどのような表現上の特徴があり、それがどのような効果を上げているかを理解する。			
		◆【小説】「こころ」夏目漱石				・心情表現や比喩表現をとらえて、視点人物の心情や行為の意味を理解させる。 ・複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を踏まえて整理させる。			
		第二回定期試験							
		◆【詩】「硝子の駒一短歌抄」				・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。			
冬 休 み		★課題				・別途指示する。			
後期	1月～3月	◆【評論】「文学のふるさと」坂口安吾				・論理の展開をつかみ、自身の経験と重ねつつ理解を深める。			
		◆【小説】「鞆」安部公房				・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。			
		第三回定期試験							
備考	★授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★								
	【第一回試験範囲】「雨月物語」/「山椒魚」/「あの朝」								
	【第二回試験範囲】「言葉を生きる」/「永訣の朝」/「こころ」								
	【第三回試験範囲】「硝子の駒一短歌抄」/「文学のふるさと」/「鞆」								

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週2時間	教材	文学国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年2組・4組 (文 I)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆【随筆】「雨月物語」木内昇				・随筆における心理描写や情景描写を通して筆者の思いを読み取り、ものの見方を広げる。			
		◆【小説】「山椒魚」井伏鱒二				登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。			
		◆【小説】「窓」いしいしんじ				・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。			
		◆【小説】「あの朝」角田光代				・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。			
		第一回定期試験							
夏 休 み		★課題				・短歌・俳句を創作する。 ・別途指示する。			
前期	9月	防災学習				・過去の災害記録などを参照し、小論文を書く。 ・災害に関する理解を深め、防災に対する意識を高める。			
		◆【評論】「言葉を生きる」若松英輔				・内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考える。			
後期	10月～12月	◆【詩】「永訣の朝」宮澤賢治				・詩にどのような表現上の特徴があり、それがどのような効果を上げているかを理解する。			
		◆【小説】「こころ」夏目漱石				・心情表現や比喩表現をとらえて、視点人物の心情や行為の意味を理解させる。 ・複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を踏まえて整理させる。			
		第二回定期試験							
		◆【詩】「硝子の駒一短歌抄」				・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。			
冬 休 み		★課題				・別途指示する。			
後期	1月～3月	◆【評論】「文学のふるさと」坂口安吾				・論理の展開をつかみ、自身の経験と重ねつつ理解を深める。			
		◆【小説】「鞆」安部公房				・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。			
		第三回定期試験							
備考	★授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★ 【第一回試験範囲】「雨月物語」/「山椒魚」/「窓」/「あの朝」 【第二回試験範囲】「言葉を生きる」/「永訣の朝」/「こころ」 【第三回試験範囲】「硝子の駒一短歌抄」/「文学のふるさと」/「鞆」								

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週2時間	教材	文学国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組 (文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆【随筆】「雨月物語」木内昇				・随筆における心理描写や情景描写を通して筆者の思いを読み取り、ものの見方を広げる。			
		◆【小説】「山椒魚」井伏鱒二				登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。			
		◆【小説】「あの朝」角田光代				・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。			
		第一回定期試験							
夏 休 み		★課題				・短歌・俳句を創作する。 ・別途指示する。			
前期	9月	防災学習				・過去の災害記録などを参照し、小論文を書く。 ・災害に関する理解を深め、防災に対する意識を高める。			
		◆【評論】「言葉を生きる」若松英輔				・内容を的確に理解し、「言葉」の意義や特質について考える。			
後期	10月～12月	◆【詩】「永訣の朝」宮澤賢治				・詩にどのような表現上の特徴があり、それがどのような効果を上げているかを理解する。			
		◆【小説】「こころ」夏目漱石				・心情表現や比喩表現をとらえて、視点人物の心情や行為の意味を理解させる。 ・複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を踏まえて整理させる。			
		第二回定期試験							
		◆【詩】「硝子の駒一短歌抄」				・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。			
冬 休 み		★課題				・別途指示する。			
後期	1月～3月	◆【評論】「文学のふるさと」坂口安吾				・論理の展開をつかみ、自身の経験と重ねつつ理解を深める。			
		◆【小説】「鞆」安部公房				・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。			
		第三回定期試験							
備考	★授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★								
	【第一回試験範囲】「雨月物語」/「山椒魚」/「あの朝」								
	【第二回試験範囲】「言葉を生きる」/「永訣の朝」/「こころ」								
	【第三回試験範囲】「硝子の駒一短歌抄」/「文学のふるさと」/「鞆」								

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週 2 時間	教材	文学国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組 (国士舘大学進学クラス文系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆【評論】「詩と感情生活」 ◆【詩歌】「永訣の朝」宮澤賢治 「竹」萩原朔太郎 ◆【小説】「山椒魚」井伏鱒二 第 一 回 定期試験				◆論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。 ◆表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 ◆特徴的なリズムや表現に気づき、それがどのような効果をもたらしているかを読み取る。 ◆登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。			
夏 休 み		★国語科課題				◆読書感想文(校内コンクール) ◆短歌(東洋大学／外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学／外部コンクール)			
前期	9月	◆【評論】「文学のふるさと」坂口安吾				◆具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。			
後期	10月～12月	◆【小説】「こころ」夏目漱石 第 二 回 定期試験 防災教育「テクノロジー」				◆人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 ◆災害対策本部などで活躍する事務的なスキルを学習し、身につける。			
冬 休 み									
後期	1月～3月	◆【評論】「モードの変遷」穂村宏 ◆【小説】「鞆」坂口安吾 第 三 回 定期試験				◆具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。 ◆寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。			
	【第一回 定期試験範囲】 「詩と感情生活」／「山椒魚」／詩／文学史(詩) 【第二回 定期試験範囲】 「文学のふるさと」／「こころ」／文学史(明治～大正) 【第二回 定期試験範囲】 「モードの変遷」／「鞆」／文学史(昭和)								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 3 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年1組 (文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	古典文法の復習				・1年次に学習をした、動詞の活用の種類、助動詞 助詞の確認。			
	5月	宇治拾遺物語 第四十九話「小野 篁 広才のこと」				・文法のワークを使用。			
	6月	伊勢物語 第一段「初冠」 大和物語 第百五十六段「姨捨(をばすて)」				・本文の現代語訳を通して、古文の理解力を養う。 ・本文を読み取りながら、助詞の復習をする。 ・歌物語の特色を理解する。 ・「初冠」に出てくる男の行動を理解する。 ・複数の作品を読み比べ、ものの見方を考える。			
	7月	文学史 「完成 日本文学史ノート」 第1回定期試験				・上代の歴史と文学概念を学ぶ。			
	夏 休 み								
前期	9月	★防災学習 方丈記 「安元の大火」 徒然草 「悲田院の堯蓮上人は」				・随筆に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏ま えて、考えを深める。 ・「安元の大火」を通して、災害について学ぶ。 話題の内容と、それを受けての作者の感懐を読みとる。			
後期	10月	漢文 文法 漢詩 近体詩 「江雪」(柳宗元) 「江南春」(杜牧)				・再読文字、置き字を理解する。 ・漢詩の形式を学び、漢詩の世界観を養う。 ・漢詩の「景」と「情」を理解する。			
	11月	史記 「鴻門之会」「四面楚歌」				・長文に慣れ、登場人物の意図を理解する。 ・作者「司馬遷」の哲学を学ぶ。			
	12月	文学史 「完成 日本文学史ノート」 第2回定期試験 定期試験の見直し・復習プリント				・中古の歴史と文学概念を学ぶ。			
冬 休 み									
後期	1月	源氏物語 「光源氏の誕生」				・作り物語の内容を読み取り、登場人物の行動や心理 を捉え、使用されている敬語について理解する。			
	2月	更級日記 「門出」 蜻蛉日記 「なげきつつひとり寝る夜」 文学史 「完成 日本文学史ノート」 第3回定期試験				・日記を読み、作者の境遇や出来事を捉える。 ・作者のものの見方、考え方を理解する。 ・中世の歴史と文学概念を学ぶ。			
春 休 み									
★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★									
★毎週1回、古文単語テストを行い、適宜入試対策も行う。									
★学習課題ノートを適宜使用し、単元の復習・確認に努める。									
★定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。									
第1回 定期試験範囲……『宇治拾遺物語』／『伊勢物語』／『大和物語』／文学史「上代」									
第2回 定期試験範囲……『方丈記』／『徒然草』／『漢詩』／『史記』／文学史「中古」									
第3回 定期試験範囲……『源氏物語』／『更級日記』／『蜻蛉日記』／文学史「中世」									

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 3 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年2組(文Ⅰ・選抜) 高等学校 2年4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	古典文法の復習				1年次に学習をした文法の復習。			
	5月・6月	【枕草子】「すさまじきもの」 助動詞① 第 一 回 定期試験				文法の準拠ワーク等を適宜使用する。 登場人物である「男」の心情の変化を読み取る。 文法を理解し、内容を深める。 人々の行動と心情を整理し、理解する。 1年間ですべての助動詞をマスターする。			
夏 休 み									
前期・ 後期	9月～11月	助動詞② 防災教育 【方丈記】「安元の大火」 【玉勝間】「師の説になづまざること」 漢文の復習、再読文字、置き字 【近体詩】「江南春」 【近体詩】「黄鶴楼」 第 二 回 定期試験				1年間ですべての助動詞をマスターする。 火事のありさまがどのように描き出されているのかまとめ る。図を参考にし、火の燃え広がり方を理解する。 作者がなぜ「師の説になづまざること」が必要であると述べて いるのか理解する。 中学・1年次に学習をした漢文の復習。 それぞれの詩の形式を確認する。 対句を抜き出し、表現効果についても内容を深める。			
	12月	定期試験の見直し・復習プリント							
冬 休 み									
後 期	1月～2月	【更級日記】『門出』 【源氏物語】『若紫』〈紫式部〉 第 三 回 定期試験				作品の冒頭部分としての意味を確認する。 作者の物語への憧れを整理する。 光源氏の、少女に対する気持ちの変化をまとめ、理解する。			
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります★								
	※古文単語テストを適宜実施								
	※大学入試問題や模擬試験問題等を活用し、入試対策も行う。								
	※定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。								
	第一回定期試験	「姨捨」／「すさまじきもの」／文法／文学史／大学入試問題／その他							
第二回定期試験	「師の説になづまざること」／「江南春」／「黄鶴楼」／文法／文学史／大学入試問題／その他								
第三回定期試験	「門出」／「若紫」／文法／文学史／大学入試問題／その他								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 3 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年5～8組 (文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	古典文法の復習				・1年次に学習をした、動詞の活用の種類、助動詞 助詞の確認。			
	5月	宇治拾遺物語 第四十九話「小野 篁 広才のこと」				・文法のワークを使用。			
	6月	伊勢物語 第一段「初冠」 大和物語 第百五十六段「姨捨(をばすて)」				・本文の現代語訳を通して、古文の理解力を養う。 ・本文を読み取りながら、助詞の復習をする。 ・歌物語の特色を理解する。			
	7月	文学史 「完成 日本文学史ノート」 第1回定期試験				・「初冠」に出てくる男の行動を理解する。 ・複数の作品を読み比べ、ものの見方を考える。			
	夏 休 み					・上代の歴史と文学概念を学ぶ。			
前期	9月	★防災学習 方丈記 「安元の大火」 徒然草 「悲田院の堯蓮上人は」				・随筆に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏ま えて、考えを深める。 ・「安元の大火」を通して、災害について学ぶ。 話題の内容と、それを受けての作者の感懐を読みとる。			
	10月	漢文 文法 漢詩 近体詩 「江雪」(柳宗元) 「江南春」(杜牧)				・再読文字、置き字を理解する。 ・漢詩の形式を学び、漢詩の世界観を養う。			
	11月	史記 「鴻門之会」「四面楚歌」				・漢詩の「景」と「情」を理解する。 ・長文に慣れ、登場人物の意図を理解する。			
後期	12月	文学史 「完成 日本文学史ノート」 第2回定期試験 定期試験の見直し・復習プリント				・作者「司馬遷」の哲学を学ぶ。 ・中古の歴史と文学概念を学ぶ。			
	冬 休 み								
後期	1月	源氏物語 「光源氏の誕生」				・作り物語の内容を読み取り、登場人物の行動や心理 を捉え、使用されている敬語について理解する。			
	2月	更級日記 「門出」 蜻蛉日記 「なげきつつひとり寝る夜」 文学史 「完成 日本文学史ノート」 第3回定期試験				・日記を読み、作者の境遇や出来事を捉える。 ・作者のものの見方、考え方を理解する。 ・中世の歴史と文学概念を学ぶ。			
	春 休 み								
★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★									
★毎週1回、古文単語テストを行い、適宜入試対策も行う。									
★学習課題ノートを適宜使用し、単元の復習・確認に努める。									
★定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。									
第1回 定期試験範囲……『宇治拾遺物語』／『伊勢物語』／『大和物語』／文学史「上代」									
第2回 定期試験範囲……『方丈記』／『徒然草』／『漢詩』／『史記』／文学史「中古」									
第3回 定期試験範囲……『源氏物語』／『更級日記』／『蜻蛉日記』／文学史「中世」									

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週2時間	教材	東京書籍 精選古典探究	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組 (国士舘大学進学クラス文系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	◆【漢文】「入門二」 「朝三暮四」 ◆【文法】「助動詞」 ◆【詩歌】歌合「天徳四年内裏歌合」 第一回定期試験				◆漢文の訓読の基礎を理解する。 ◆身につけた訓読の力で文章を読解する。 ◆体系古典文法準拠ノートで学習する。 ◆行事としての歌合を理解する。 ◆二首の短歌を鑑賞する。			
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	◆防災教育 【随筆】方丈記「安元の大火」				◆火事のありさまがどのように描き出されているのかまとめる。図を参考にし、火の燃え広がり方を理解する。			
後期	10月～12月	◆【作り物語】源氏物語「光源氏の誕生」〈桐壺〉 ◆【日記】更科日記「門出」 ◆【漢文】小話「漱石枕流」 第二回定期試験 ◆【文学史】奈良時代～平安時代～鎌倉時代				◆源氏物語の世界観を理解し、魅力を感じ取る。物語の文学の流れと概要を理解する。 ◆源氏物語との関係を踏まえ、作品を理解する。 ◆故事成語の成り立ちを学ぶ。 ◆主要な作品の成立順を理解する。			
冬 休 み									
後期	1月～3月	◆【漢文】史記「四面楚歌」 ◆【説話】宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 ◆【歌物語】伊勢物語「月やあらぬ」 第三回定期試験				◆史書『史記』の特徴を理解する。粗筋を理解する。 ◆歴史的背景、人物関係、敬語表現を理解する。 ◆歌物語の特色を理解し、和歌について理解する。			
備考	・第一回定期試験 【古文】「天徳四年内裏歌合」「助動詞」【漢文】「入門二」「朝三暮四」 ・第二回定期試験 【古文】「安元の大火」「光源氏の誕生」「門出」「助動詞」【漢文】「漱石枕流」 ・第三回定期試験 【古文】「小野篁、広才のこと」「月やあらぬ」【漢文】「四面楚歌」								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週2時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2・3組理系								
		項目				到達目標			
前期	4月	・評論(芸術)清岡卓行「ミロのヴィーナス」 ・評論(近代)丸山真男「である」と「する」こと ・第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験				・ミロのヴィーナスの失われた両腕についての筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ・筆者の主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。			
	5月								
	6月								
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	・評論(社会)神里達博「リスク」と「リスク社会」				「リスク」という概念について理解を深め、近代という時代の根本的な性質について社会全体から考える。 リスクマネジメントの観点からも防災について考える。			
		防災について							
後期	10月	評論(メディア)若林幹夫「地図の想像力」				・具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取り、近代社会を捉え直す視点を持つ。 ・地図観の違いについての論の展開に注意し、イメージしながら読み取ることができる。			
	11月	・第2回定期試験までに漢字テストを数回実施する ・第2回定期試験							
	12月	国語常識・漢字語彙問題演習							
冬 休 み		冬期休暇課題							
後期	1月	・評論(科学)小川真里子科学的「発見」とは				・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方と、その意義を理解する。 ・小見出しに注意しながら読み取り、筆者が「環境」を考える上で重要だと述べていることを理解する。			
	2月	・評論(環境)上柿崇英「環境」とは何か ・第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第3回定期試験							
春 休 み		・第1回定期試験範囲: 評論(芸術) 清岡卓行「ミロのヴィーナス」、 評論(近代)丸山真男「である」と「する」こと ・第2回定期試験範囲: 評論(社会)神里達博「リスク」と「リスク社会」 評論(メディア) 若林幹夫「地図の想像力」 ・第3回定期試験範囲: 評論(科学) 小川真里子 科学的「発見」とは、 評論(環境) 上柿崇英 「環境」とは何か							

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説世界史探究 山川出版	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	・先史の世界				・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。			
		・古代オリエント世界				・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。			
	5月	・古代ギリシア世界				・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解する。			
	6月	・古代ローマ世界				・ローマ共和政社会から帝政社会への変化の流れを学び、政治体制の特徴と、長所短所を考える。			
		・キリスト教の成立				・キリスト教の誕生と発展について学ぶ。			
	7月	・ゲルマン人の侵入 ・カトリックの発展				・ゲルマン人がヨーロッパに侵入したことで生まれた新たな社会秩序について理解する。			
		第1回定期試験							
	夏期休暇課題:古代ギリシア文化史・古代ローマ文化史 目標:中世・近世ヨーロッパ社会に大きく関わる両文化を学び、ヨーロッパ史への理解を深める								
	9月	・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・東欧社会の発展				・西欧のカトリック社会と東欧のビザンツ帝国をそれぞれ学び、東西ヨーロッパの社会にどのような違いがあったのかを理解する。			
	後期	10月	・西ヨーロッパ中世社会の変容 ・ヨーロッパ世界の拡大				・封建制と教皇権の衰退により、中世社会が崩壊するまでの流れを学ぶ。 ・中世末期から台頭するポルトガル・スペインについて学び、近世社会へ移行する流れを掴む。		
11月		・宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制の形成 ・17世紀ヨーロッパ社会の形成				・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考える。 ・主権国家成立後の絶対王政を中心とした各国の政治史や国際戦争について理解する。			
		第2回定期試験							
12月		・ヨーロッパ諸国の海外進出				・ヨーロッパ諸国による近世植民地政策について学び、西洋と東洋の繋がりを理解する。			
冬期休暇課題:ルネサンス 目標:ルネサンス期の文化を通じて、ヨーロッパが中世から近世社会に移行していく中で発生した思想の変化を学ぶ。									
1月		・イギリス革命 ・イギリス産業革命 ・防災学習:ロンドン大火から学ぶこと				・17～18世紀のヨーロッパ市民革命を学び、近世社会から近代社会への移行の条件を理解する。			
		2月	・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン				・次年度行う19世紀近代社会の形成と、アジアの近代化の流れについて、事前に理解する。		
3月			第3回定期試験						
春期休暇課題:17～18世紀のヨーロッパ文化 目標:17世紀の近世的文化と、18世紀の近世批判的文化を学び、近代社会への変化をより深く理解する									

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説世界史探究 山川出版	種 別	高校	
学年 組 類型	高等学校2年2組・4組(選択)									
時期		項目			到達目標					
前期	4月	・先史の世界			・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。					
		・古代オリエント世界			・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。					
	5月	・古代ギリシア世界			・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解する。					
	6月	・古代ローマ世界			・ローマ共和政社会から帝政社会への変化の流れを学び、政治体制の特徴と、長所短所を考える。					
		・キリスト教の成立			・キリスト教の誕生と発展について学ぶ。					
	7月	・ゲルマン人の侵入 ・カトリックの発展			・ゲルマン人がヨーロッパに侵入したことで生まれた新たな社会秩序について理解する。					
		第1回定期試験								
	夏期休暇課題: 古代ギリシア文化史・古代ローマ文化史									
	目標: 中世・近世ヨーロッパ社会に大きく関わる両文化を学び、ヨーロッパ史への理解を深める									
9月	・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・東欧社会の発展			・西欧のカトリック社会と東欧のビザンツ帝国をそれぞれ学び、東西ヨーロッパの社会にどのような違いがあったのかを理解する。						
後期	10月	・西ヨーロッパ中世社会の変容 ・ヨーロッパ世界の拡大			・封建制と教皇権の衰退により、中世社会が崩壊するまでの流れを学ぶ。 ・中世末期から台頭するポルトガル・スペインについて学び、近世社会へ移行する流れを掴む。					
	11月	・宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制の形成 ・17世紀ヨーロッパ社会の形成			・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考える。 ・主権国家成立後の絶対王政を中心とした各国の政治史や国際戦争について理解する。					
		第2回定期試験								
	12月	・ヨーロッパ諸国の海外進出			・ヨーロッパ諸国による近世植民地政策について学び、西洋と東洋の繋がりを理解する。					
		防災学習: 船乗りから学ぶ備蓄の重要性								
	冬期休暇課題: ルネサンス									
	目標: ルネサンス期の文化を通じて、ヨーロッパが中世から近世社会に移行していく中で発生した思想の変化を学ぶ。									
	1月	・イギリス革命 ・イギリス産業革命			・17～18世紀のヨーロッパ市民革命を学び、近世社会から近代社会への移行の条件を理解する。					
	2月	・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン			・次年度行う19世紀近代社会の形成と、アジアの近代化の流れについて、事前に理解する。					
3月	第3回定期試験									
春期休暇課題: 17～18世紀のヨーロッパ文化										
目標: 17世紀の近世的文化と、18世紀の近世批判的文化を学び、近代社会への変化をより深く理解する										

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説世界史探究 山川出版	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5・6・7組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	・先史の世界				・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。			
		・古代オリエント世界				・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。			
	5月	・古代ギリシア世界				・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解する。			
	6月	・古代ローマ世界				・ローマ共和政社会から帝政社会への変化の流れを学び、政治体制の特徴と、長所短所を考える。			
		・キリスト教の成立				・キリスト教の誕生と発展について学ぶ。			
	7月	・ゲルマン人の侵入 ・カトリックの発展				・ゲルマン人がヨーロッパに侵入したことで生まれた新たな社会秩序について理解する。			
		第1回定期試験							
	夏期休暇課題: 古代ギリシア文化史・古代ローマ文化史								
	目標: 中世・近世ヨーロッパ社会に大きく関わる両文化を学び、ヨーロッパ史への理解を深める								
	9月	・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・東欧社会の発展				・西欧のカトリック社会と東欧のビザンツ帝国をそれぞれ学び、東西ヨーロッパの社会にどのような違いがあったのかを理解する。			
後期	10月	・西ヨーロッパ中世社会の変容 ・ヨーロッパ世界の拡大				・封建制と教皇権の衰退により、中世社会が崩壊するまでの流れを学ぶ。 ・中世末期から台頭するポルトガル・スペインについて学び、近世社会へ移行する流れを掴む。			
	11月	・宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制の形成 ・17世紀ヨーロッパ社会の形成				・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考える。 ・主権国家成立後の絶対王政を中心とした各国の政治史や国際戦争について理解する。			
		第2回定期試験							
	12月	・ヨーロッパ諸国の海外進出				・ヨーロッパ諸国による近世植民地政策について学び、西洋と東洋の繋がりを理解する。			
	冬期休暇課題: ルネサンス								
	目標: ルネサンス期の文化を通じて、ヨーロッパが中世から近世社会に移行していく中で発生した思想の変化を学ぶ。								
	1月	・イギリス革命 ・イギリス産業革命				・17～18世紀のヨーロッパ市民革命を学び、近世社会から近代社会への以降の条件を理解する。			
		・防災学習: 世界各国の防災状況							
	2月	・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン				・次年度行う19世紀近代社会の形成と、アジアの近代化の流れについて、事前に理解する。			
	3月	第3回定期試験							
春期休暇課題: 17～18世紀のヨーロッパ文化									
目標: 17世紀の近世的文化と、18世紀の近世批判的文化を学び、近代社会への変化をより深く理解する									

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週2時間	教材	詳説世界史探究 山川出版	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組・10組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	・先史の世界				・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。			
		・古代オリエント世界				・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。			
	5月	・古代ギリシア世界				・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解する。			
	6月	・古代ローマ世界				・ローマ共和政社会から帝政社会への変化の流れを学び、政治体制の特徴と、長所短所を考える。			
		・キリスト教の成立				・キリスト教の誕生と発展について学ぶ。			
	7月	・ゲルマン人の侵入 ・カトリックの発展				・ゲルマン人がヨーロッパに侵入したことで生まれた新たな社会秩序について理解する。			
		第1回定期試験							
	夏期休暇課題:古代ギリシア文化史・古代ローマ文化史 目標:中世・近世ヨーロッパ社会に大きく関わる両文化を学び、ヨーロッパ史への理解を深める								
	9月	・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・東欧社会の発展				・西欧のカトリック社会と東欧のビザンツ帝国をそれぞれ学び、東西ヨーロッパの社会にどのような違いがあったのかを理解する。			
	後期	10月	・西ヨーロッパ中世社会の変容 ・ヨーロッパ世界の拡大				・封建制と教皇権の衰退により、中世社会が崩壊するまでの流れを学ぶ。 ・中世末期から台頭するポルトガル・スペインについて学び、近世社会へ移行する流れを掴む。		
11月		・宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制の形成 ・17世紀ヨーロッパ社会の形成				・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考える。 ・主権国家成立後の絶対王政を中心とした各国の政治史や国際戦争について理解する。			
		第2回定期試験							
12月		・ヨーロッパ諸国の海外進出				・ヨーロッパ諸国による近世植民地政策について学び、西洋と東洋の繋がりを理解する。			
冬期休暇課題:ルネサンス 目標:ルネサンス期の文化を通じて、ヨーロッパが中世から近世社会に移行していく中で発生した思想の変化を学ぶ。									
1月		・イギリス革命 ・イギリス産業革命 ・防災学習:ロンドン大火から学ぶこと				・17～18世紀のヨーロッパ市民革命を学び、近世社会から近代社会への以降の条件を理解する。			
2月		・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン				・次年度行う19世紀近代社会の形成と、アジアの近代化の流れについて、事前に理解する。			
3月		第3回定期試験							
春期休暇課題:17～18世紀のヨーロッパ文化 目標:17世紀の近世的文化と、18世紀の近世批判的文化を学び、近代社会への変化をより深く理解する									

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史 山川出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年2組(文Ⅰ・選抜) 高等学校 2年4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	文化の始まり				旧石器時代、縄文時代の人々の暮らしについて学習する。			
	5月	農耕社会の成立				弥生時代の人々の暮らし、邪馬台国について学習する。			
		古墳とヤマト政権				古墳文化の移り変わり、ヤマト政権の政治・外交・人々の暮らしについて学習する。			
	6月	飛鳥の朝廷				推古朝の政治・文化について学習する。			
	7月	律令国家への道				大化の改新から大宝律令制定までの政治について学習する。			
	第一回定期試験				旧石器時代～律令国家への道				
夏休み		問題演習				実際に問題を解き 出題形式に慣れる			
前期	9月	平城京の時代 平安王朝の形成				奈良時代の政治・外交、藤原氏の政界進出について学習する。 平安時代前期の政治・社会、平安仏教について学習する。			
後期	10月	摂関政治				藤原北家の発展・摂関政治について学習する。			
	11月	地方政治の展開と武士				地方政治・荘園・源氏の進出について学習する。			
	12月	第二回定期試験				平城京の時代～地方政治の展開と武士			
防災学習				日本の歴史上の災害とそれにより進展した防災技術を学ぶ。					
冬休み		問題演習プリント・予習プリント				冬休みの課題			
後期	1月	鎌倉幕府の成立				鎌倉幕府の成立～南北朝の動乱			
	2月	モンゴル襲来と幕府の衰退							
	3月	建武の新政・南北朝の動乱							
	第三回定期試験								
春休み		自宅学習				各自の進度に応じて問題演習を行う			

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史 山川出版	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5～8組（選択）								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	文化の始まり			旧石器時代、縄文時代の人々の暮らしについて学習する。				
	5月	農耕社会の成立			弥生時代の人々の暮らし、邪馬台国について学習する。				
		古墳とヤマト政権			古墳文化の移り変わり、ヤマト政権の政治・外交・人々の暮らしについて学習する。				
	6月	飛鳥の朝廷			推古朝の政治・文化について学習する。				
		律令国家への道			大化の改新から大宝律令制定までの政治について学習する。				
	7月	飛鳥の朝廷			推古朝の政治・文化について学習する。				
		平城京の時代			奈良時代の政治・外交、藤原氏の政界進出について学習する。				
		第一回定期試験			旧石器時代～奈良時代				
夏 休 み		問題演習プリント・予習プリント			夏休みの課題				
前期	9月	貴族社会の展開			平安時代前期の政治・社会、平安仏教について学習する。 ※防災学習を実施する。（関東大震災と防災）				
後 期	10月	院政と武士の躍進			院政期と武士の登場について学習する。				
	11月	武家政権の成立			鎌倉幕府の成立と発展について学習する。				
	12月	武家社会の成長			平安時代～鎌倉時代 建武の新政・室町幕府の成立・発展について学習する。				
冬 休 み		問題演習プリント・予習プリント			冬休みの課題				
後 期	1月	武家社会の成長			建武の新政・室町幕府の成立・発展について学習する。				
	2月								
	3月	第三回定期試験			建武の新政～室町時代				
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週2時間	教材	詳説日本史 山川出版	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組～10組 (国士舘大学進学クラス選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	文化の始まり 農耕社会の成立				旧石器時代、縄文時代の人々の暮らしについて学習する。 弥生時代の人々の暮らし、邪馬台国について学習する。			
	5月	古墳とヤマト政権				古墳文化の移り変わり、ヤマト政権の政治・外交・ 人々の暮らしについて学習する。			
	6月	飛鳥の朝廷				推古朝の政治・文化について学習する。			
	7月								
		第一回定期試験				旧石器時代～飛鳥時代			
夏 休 み		問題演習プリント・予習プリント				夏休みの課題			
前期	9月	飛鳥の朝廷 律令国家への道				推古朝の政治・文化について学習する。 大化の改新から大宝律令制定までの政治について学習する。			
後期	10月	平城京の時代 平安王朝の形成				奈良時代の政治・外交、藤原氏の政界進出について学習する。 平安時代前期の政治・社会、平安仏教について学習する。			
	11月	第二回定期試験				飛鳥時代～平安前期			
	12月	摂関政治				藤原北家の発展・摂関政治について学習する。			
冬 休 み		問題演習プリント・予習プリント				冬休みの課題			
後期	1月	摂関政治 地方政治の展開と武士				藤原北家の発展・摂関政治について学習する。 地方政治・荘園・源氏の進出について学習する。			
	2月					※防災学習を実施する。			
	3月	第三回定期試験				摂関政治～源氏の進出			
春 休 み		自宅学習				各自の進度に応じて問題演習を行う			

教科	公民	科目	公共	授業 時数	週2時間	教材	高等学校 公共 帝国書院	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1部 第3章 私たちの社会の基本原理 第1節 社会の基本原理と憲法の考え方 3. 日本国憲法				・日本国憲法と明治憲法を比較し、憲法の基本原理を理解。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。			
	5月	4. 平等に生きる権利 5. 自由に生きる権利① 6. 自由に生きる権利②							
	6月	7. 人間らしく生きる権利 8. 広がる人権の考え方 9. 人権保障の国際的な広がり							
	7月	第1回定期試験（試験範囲:上記単元項目）							
	夏休み								
前期	9月	第1部 第2章 私たちと政治 防災学習①				・公共に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。 ・国会、内閣のしくみについて理解する。			
		2. 議院内閣制と国会							
後期	10月	3. 権力分立と地方自治				・裁判所、地方自治のしくみについて理解する。 ・日本の政党政治、選挙について理解する。			
	11月	5. 政党政治とメディア 6. 選挙制度とその課題 第2回定期試験（試験範囲:上記単元項目）							
冬休み						試験範囲 教科書P94～112			
後期	1月	(第1部 第2章 私たちと政治) 防災学習②				・公共に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。 ・領土問題、国際連合の役割について理解する ・地域紛争と人種問題、国際社会での日本の役割を理解する			
		2. 日本の主権と領土 5. 国際連合の役割と活動							
		6. 紛争とテロリズム 8. 国際協力と日本の役割							
	2月								
3月	第3回定期試験（試験範囲:上記単元項目）				試験範囲 教科書P114～129(のうち単元項目箇所)				

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学Ⅱ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組, 5組～8組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 式と証明 第1節 整式の乗法・除法と分数式				整式の乗法・除法の計算と原理を理解させる。 整式の計算を除法や分数式に拡張、整式の四則を完成する。			
	5月	第2節 等式・不等式の証明				等式・不等式の性質を理解し、式の証明ができるようにする。			
	6月	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式				数の範囲を複素数に拡張し四則演算ができるようにする。			
		第2節 因数定理と高次方程式				因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線				2点間の距離や内分点・外分点を求められるようにする。			
後期	10月	第2節 円				円の方程式について理解させ、それを求められるようにする。			
	11月	第3節 軌跡と領域 第2回定期試験				軌跡の概念を理解させ軌跡を求められるようにする。			
	12月	第3節 軌跡と領域				不等式の表す領域を図示できるようにする。			
冬 休 み									
後期	1月	第4章 三角関数 第1節 一般角の三角関数				角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させグラフをかけるようにする。			
	2月	第2節 三角関数の加法定理				加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。			
	3月	第3回定期試験				防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
春 休 み									

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週4時間	教材	啓林館 数学Ⅱ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組, 3組, 4組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 式と証明・方程式 第1節 多項式の乗法・除法と分数式 第2節 式と証明				整式の乗法・除法の計算と原理を理解させる。 整式の計算を除法や分数式に拡張、整式の四則を完成する。 等式・不等式の性質を理解し、式の証明ができるようにする。			
	5月	第3節 複素数と2次方程式 第4節 高次方程式				数の範囲を複素数に拡張し四則演算ができるようにする。 複素数の範囲に拡張した2次方程式を解けるようにする。 因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。			
	6月	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円と直線				2点間の距離や内分点・外分点を求められるようにする。直線の方程式について理解させそれを求められるようにする。 円の方程式について理解させ、それを求められるようにする。			
	7月	第3節 軌跡と領域 第1回定期試験				軌跡の概念を理解させ軌跡を求められるようにする。 不等式の表す領域を図示できるようにする。			
	夏休み								
	9月	第3章 三角関数 第1節 一般角の三角関数				角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させグラフをかけるようにする。			
後期	10月	第2節 三角関数の加法定理 第4章 指数関数と対数関数				加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。			
	11月	第1節 指数と指数関数 第2節 対数と対数関数 第2回定期試験				指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 指数関数のグラフをかけるようにする。 指数の方程式・不等式を解けるようにする。 対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 対数の方程式・不等式を解けるようにする。			
	12月	第5章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数				微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。			
冬休み									
後期	1月	第2節 導関数の応用				関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ関数のグラフをかけるようにする。			
	2月	第3節 積分				不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。 定積分の性質や公式を理解して、計算ができるようにする。 平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを理解させ、面積を求められるようにする。			
	3月	第3回定期試験				防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
春休み									

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週4時間	教材	啓林館 新編数学Ⅱ アベレージⅡ+B	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年10組理系 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 式と証明・方程式 第1節 多項式の乗法・除法と分数式 第2節 式と証明				整式の乗法・除法の計算と原理を理解させる。 整式の計算を除法や分数式に拡張、整式の四則を完成する。 等式・不等式の性質を理解し、式の証明ができるようにする。			
	5月	第3節 複素数と2次方程式 第4節 高次方程式				数の範囲を複素数に拡張し四則演算ができるようにする。 複素数の範囲に拡張した2次方程式を解けるようにする。 因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。			
	6月	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円と直線				2点間の距離や内分点・外分点を求められるようにする。直線の方程式について理解させそれを求められるようにする。 円の方程式について理解させ、それを求められるようにする。			
	7月	第3節 軌跡と領域				軌跡の概念を理解させ軌跡を求められるようにする。 不等式の表す領域を図示できるようにする。			
	第1回定期試験								
夏 休 み									
前期	9月	第3章 三角関数 第1節 一般角の三角関数				角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させグラフをかけるようにする。			
	10月	第2節 三角関数の加法定理 第4章 指数関数と対数関数				加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。			
後期	11月	第1節 指数と指数関数 第2節 対数と対数関数 第2回定期試験				指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 指数関数のグラフをかけるようにする。 指数の方程式・不等式を解けるようにする。 対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 対数関数のグラフをかけるようにする。 対数の方程式・不等式を解けるようにする。			
	12月	第5章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数				微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。			
	冬 休 み								
後期	1月	第2節 導関数の応用				関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ関数のグラフをかけるようにする。			
	2月	第3節 積分				不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。 定積分の性質や公式を理解して、計算ができるようにする。 平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを理解させ、面積を求められるようにする。			
	3月	第3回定期試験				防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
春 休 み									

教科	数学	科目	数学B	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 数列				数列の概念の導入後、等差数列と等比数列について理解させる。			
		第1節 等差数列・等比数列							
	5月	第2節 いろいろな数列				Σの使い方、自然数の平方の和、階差数列、 いろいろな数列の第n項の和などを理解させる。			
	6月	第3節 漸化式と数学的帰納法				漸化式の意味を理解し、漸化式で定義される数列の一般項を求められるようにし、数列の和を例として数学的帰納法を学ぶ。			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第2章 確率分布と統計的な推測				確率変数、確率分布の意味を理解させ確率変数の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
		第1節 確率分布							
後期	10月								
	11月	第2節 正規分布				連続的な確率変数と確率分布の平均と分散を求められるようにする。 正規分布の活用を学び近似を使って確率を求められるようにする。			
		第2回定期試験							
	12月	第3節 統計的な推測				母集団と標本について学び平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
冬 休 み									
後期	1月					母平均の推定や仮設検定を学び事象についての検定を行えるようにする。			
	2月	第3章 数学と社会生活				数学が日常でどのように使われているかを考え、活用できるようにする。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
		第3回定期試験							
春 休 み									

教科	数学	科目	数学B	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学B アベレージⅡ+B	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年10組理系 (国士館大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 数列				数列の概念の導入後、等差数列と等比数列について理解させる。			
	5月	第1節 等差数列・等比数列				Σの使い方、自然数の平方の和、階差数列、 いろいろな数列の第n項の和などを理解させる。			
	6月	第2節 いろいろな数列				漸化式の意味を理解し、漸化式で定義される数列の一般項を求められるようにし、数列の和を例として数学的帰納法を学ぶ。			
	7月	第3節 漸化式と数学的帰納法				漸化式の意味を理解し、漸化式で定義される数列の一般項を求められるようにし、数列の和を例として数学的帰納法を学ぶ。			
		第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第2章 確率分布と統計的な推測				確率変数、確率分布の意味を理解させ確率変数の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
		第1節 確率分布				確率変数、確率分布の意味を理解させ確率変数の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
後期	10月	第2章 確率分布と統計的な推測				二項分布の意味を理解させ二項分布の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
	11月	第2節 正規分布				連続的な確率変数と確率分布の平均と分散を求められるようにする。 正規分布の活用を学び近似を使って確率を求められるようにする。			
	12月	第2回定期試験				母集団と標本について学び平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
		第3節 統計的な推測				母集団と標本について学び平均、分散、標準偏差を求められるようにする。			
冬 休 み									
後期	1月	第3章 数学と社会生活				母平均の推定や仮説検定を学び事象についての検定を行えるようにする。			
	2月	第3章 数学と社会生活				数学が日常でどのように使われているかを考え、活用できるようにする。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
		第3回定期試験							
春 休 み									

教科	数学	科目	数学C	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学C	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 ベクトル				ベクトルを定義しベクトルの計算法則を理解させる。ベクトルの成分表示を定義し基本演算の成分表示が出来るようにする。 ベクトルの内積を定義し内積の成分表示、内積の計算法則を理解させる。 位置ベクトルを定義し、内分点・外分点・三角形の重心・垂心の位置ベクトルを理解させ媒介変数表示とベクトル方程式を理解させる。			
	5月	第1節 平面上のベクトルとその演算							
	6月	第2節 ベクトルと平面図形							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第3節 空間のベクトル				空間の概念を理解させ、座標を用いて2点間の距離を求められるようにする。空間ベクトルも平面上と同じような計算法則が成り立つことを理解させる。内積を定義しベクトルのなす角が成分より求まることを理解させる。			
後期	10月	第2章 複素平面				空間においても位置ベクトルが定義できることを説明し、直線上と平面上の点の位置ベクトルを求めさせる。 複素数を座標平面上の点で表すことにより、複素数平面を考える。 この平面上で複素数の和や差、実数倍の図形的性質を調べる。 楕円、双曲線、放物線の方程式の基本性質を理解させる。 2次曲線と直線の共有点を知る。図形の平行移動を確認する。			
	11月	第1節 複素平面 第2節 平面図形と複素数							
	12月	第2回定期試験 第3章 平面上の曲線 第1節 2次曲線							
冬 休 み									
後期	1月	第2節 媒介変数表示と極座標				曲線の媒介編集表示、曲方程式による曲線を理解させる。			
	2月					第3回定期試験			
春 休 み						防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			

教科	理科	科目	物理基礎	授業 時数	週2時間	教材	物理基礎 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動				身近に起こる様々な運動を客観的にとらえる。 速さ(スカラー)と速度(ベクトル)の違いを理解する。			
	5月	色々な運動様式, 速さと速度				直線的な運動を定式化し, 任意の時刻における速度や距離などを予測できるようにする。直線運動の発展として, 放物運動について理解する。			
	6月	加速度, 落下運動							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第2章 力と運動 力, 運動の法則, 圧力と浮力				力(ベクトル)の表し方, 種類, 単位について、力の合成と分解, 力のつり合いについて理解する。 ニュートンの運動の三法則について理解し、任意の運動に関しての運動方程式を立てられるようにする。 力学的エネルギーの保存について学ぶ。			
	10月	第3章 仕事とエネルギー 仕事, 仕事率, 運動エネルギー, 位置エネルギー				エネルギーの概念について理解を深める。仕事, 仕事率の定義と計算の仕方について学ぶ。 運動する物体がもつエネルギー, 重力場にある物体が潜在的に有するエネルギー, ばねによってつながれた物体が有するエネルギーを定式化する。			
後期	11月	弾性エネルギー, エネルギー保存則							
	11月	第2回定期試験				津波(物体)のエネルギーはいかに大きいものかを簡単なモデルを仮定して計算する。			
冬 休 み									
後期	1・2月	第2部 物理現象とエネルギー 第1章 熱とエネルギー 熱と温度, 気体の状態変化, エネルギーの変換と保存				熱の概念, 温度の定義, 比熱と熱容量の違いなどについて理解する。熱量の保存や物体そのものがもつエネルギー(内部エネルギー)の概念について理解を深める。 エネルギーの変換と保存について理解を深める。			
	3月	第3回定期試験							
春 休 み									

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー				生物の分類と共通性を学び、細胞の構造と働きを理解する。 光合成のメカニズムと呼吸の過程について学び、エネルギーの流れを理解する。			
	5月	生物と遺伝子 遺伝情報の分配				遺伝子の本体についての研究とDNAの構造を理解する。 メンデルの法則から遺伝の法則・規則性を学ぶ。			
	6月	遺伝情報とタンパク質の合成				フォークト、シュペーマンらの実験結果から、予定運命の決定、誘導の仕組みを理解する。			
	7月	体内環境				体液による恒常性維持活動について科学的な態度で学習する。			
		(防災時に受けた火傷や怪我の回復含む)				防災時、火傷や怪我をしてしまった場合、どのようなしくみで傷が回復するかについて理解する。			
		第1回定期試験				→授業進度により範囲の変更有り			
夏 休 み									
前期	9月	体内環境を維持するしくみ				体液による恒常性維持活動について科学的な態度で学習する。			
後 期	10月	体内環境を維持するしくみ				腎臓と肝臓のはたらきから、体内環境維持のメカニズムを学ぶ。			
	11月	免疫①				体内の免疫作用について学び、生体防御システムを理解する。			
		第2回定期試験				→授業進度により範囲の変更有り			
	12月	免疫②				神経系とホルモンのはたらきから、体内環境調節のメカニズムを学ぶ			
冬 休 み									
後 期	1月	植生の多様性と遷移				植生分布の概観と分類について理解する。			
	2月	バイオームとその分布				世界中のバイオーム分布を知り、植生分布の種類を知る。			
	3月	生態系とその保全				人間活動が生態系にどのような影響を与えるかを学ぶ。			
		第3回定期試験				→授業進度により範囲の変更有り			
春 休 み									

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週3時間	教材	化学基礎 化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第3編 物質の変化(化学基礎) 2章 酸と塩基				水素イオン濃度とpHの関係について、中和滴定実験を交えながら学ぶ。			
	5月	3章 酸化還元反応				酸化還元反応の定義を、電子の授受を中心に置きながら学ぶ。 酸化還元反応の応用例として電池を取り上げる。実用電池の種類と用途について学ぶ。			
	6月	第2編 化学反応とエネルギー(化学Vol.1) 2章 電池と電気分解				電池の逆反応として電気分解を取り上げ、その原理を理解する。ファラデーの法則を学ぶ。災害時用の電源装置などの仕組みを学び、災害に対応する力を身に付ける。			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み		化学基礎の総復習課題							
前期	9月	第1編 物質の状態(化学Vol.1) 1章 物質の状態 2章 気体の性質				物質の三態間の変化とエネルギーの関係性を学ぶ。 ボイル・シャルルの法則、および気体の状態方程式を学び、気体の体積、温度、圧力の関係を理解する。			
後 期	10月	3章 溶液の性質				希薄溶液を通し、溶液の性質を学ぶ。			
	11月	4章 固体の構造				さまざまな結晶を通し、固体中の粒子がどのような配列構造をとるのか学ぶ。			
	12月	第2回定期試験 9～12月までの復習							
冬 休 み		9～12月までの化学範囲の総復習課題							
後 期	1月	第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光				物質に固有のエネルギー(化学エネルギー)が存在することを認識し、エネルギーの変化をエンタルピーを用いて表せるようにする。化学反応に伴い熱の出入りが生じることを理解する。			
	2月								
	3月	第3回定期試験							
春 休 み		化学 第1編, 2編の総復習課題							

教科	理科	科目	科学と人間生活	授業 時数	週2時間	教材	科学と人間生活 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年文系								
時期		項目				到達目標			
前期	4月 5月	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用				身の回りの微生物が私たちの生活とどのようにかわり利用されているのか学び、理解する。 iPadを利用し、微生物について調べ学習を行う。			
	6月	2章 ヒトの生命現象				血糖調整や免疫反応など、ヒトが生命維持のために 行っている反応を学び理解する。また生命現象のもと となるDNAについて学び、人体への興味を高める。			
	7月	ブタの眼の解剖実験(iPadにて実験レポート作成)							
		第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害				身近な自然景観のなりたちについて学び理解する。 自然災害と防災への取り組みについて学び理解する。			
後期	10月 11月	1章 太陽と地球				地球規模での水や空気の循環を学び、そこから気象災 害が起こるメカニズムや地球環境についての理解や考 えを深める。			
	12月	第2回定期試験 災害と防災に関する調べ学習				災害と防災について住んでる街の情報を収集し、自身 の防災対策について考えまとめる。			
冬 休 み									
後期	1月	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用				光の性質、光の種類について学び理解する。 電磁波を利用した装置や身近な現象について学び、人 間生活とのかかわりについて学習する。			
	2月	2章 熱の性質とその利用				熱とは何か、またエネルギーとは何かを学び理解する。 世界が直面する深刻なエネルギー不足について学び、 これからの社会に求められるエネルギー観を身に付け る。			
	3月	第3回定期試験							
春 休 み									

教科	理科	科目	物理基礎	授業 時数	週2時間	教材	物理基礎 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年10組 (国士舘大学進学クラス理系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 速度, 加速度				身近に起こる様々な運動を客観的にとらえる。 速さ(スカラー)と速度(ベクトル)の違いを理解する。			
	5月	落体の運動				直線運動の発展として, 放物運動について理解する。			
	6月	第2章 力と運動 力				力(ベクトル)の表し方, 種類, 単位について理解する。 力の合成と分解, 力のつり合いについて理解する。			
	7月	第1回定期試験							
	夏 休 み								
前期	9月	運動の法則, 様々な力と運動				ニュートンの運動の三法則について理解し, 任意の運動に関しての運動方程式を立てられるようにする。			
後期	10月	第3章 仕事とエネルギー 仕事, 運動エネルギー, 位置エネルギー, 力学的エネルギーの保存				仕事の定義と計算の仕方について学ぶ。 運動する物体, 重力場にある物体が有するエネルギーを定式化し, 力学的エネルギーの保存について学ぶ。			
	11月	第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 熱と温度, 熱量, 熱と仕事の変換				熱の概念について理解する。物質の三態, ボイル・シャルルの法則を導く。 温度の定義, 比熱と熱容量の違い, 熱量の保存や物体がもつエネルギー(内部エネルギー)の概念について理解を深める。			
		第3部 波 第1章 波の性質 波源, 波動, 媒質, 矩形波, 正弦波, パルス波, 連続波, 等速円運動, 角速度(秒針), 単振動, 波長, 振幅, 周期, 振動数, 波速, 波の伝わり方, 波の性質				波に共通する性質を理解する。 波形, 正弦波, 波の独立性・重ね合わせ・反射について学ぶ。			
		第2回定期試験 第2章 音							
	12月	音波の性質(防災教育)				音速を学び雷より危険を回避する能力を会得する(防災教育)。音の三要素, 共振, 共鳴からの固有振動について学ぶ。			
冬 休 み									
後期	1月	第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 電流				電荷, 抵抗の接続, 合成抵抗, オームの法則について学ぶ。			
	2月	第2章 交流と電磁波 電磁誘導と交流				電磁誘導, 交流(実効値の出所), 交流発電機, 変圧器, 送電, 送電損失, 整流(半波整流と全波整流), 電磁波, 光の種類について学ぶ。			
	3月	第3回定期試験							
春 休 み									

教科	理科	科目	化学基礎	授業 時数	週2時間	教材	化学基礎 化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編(東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年10組 (国士館大学進学クラス理系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1編 化学と人間生活「化学基礎」 物質の成分と構成元素				物質を分類し、その成分の構成粒子について理解する。			
	5月	第2編 物質の構成「化学基礎」 原子の構造と元素の周期表・化学結合				原子の構造を理解し、各元素の化学的性質と分類方法を理解する。			
	6月	第1回試験(化学基礎) 第3編 物質の変化「化学基礎」 原子量・分子量・式量・物質質量 溶液濃度・化学反応式				イオン結合、共有結合、金属結合のしくみと性質を理解し、組成式、電子式、構造式を表記できるようにする。化学結合の違いから物質を分類できるようにする。 原子や分子の相対質量と原子や分子の質量、個数を扱う方法を理解する。 必要な物質質量を得る溶液の作成方法と使用方法を学ぶ。物質の変化と原子の組み換えを理解する。化学反応を式で表記できるようにし、その量的関係を理解する。			
	7月	第1回定期試験(第2回試験(化学基礎))							
	夏休み								
前期	9月	酸と塩基 酸化還元反応 物質の成分と構成元素(防災教育)				酸と塩基、中和の量的関係、滴定の器具、操作について学ぶ。 酸化還元反応における量的関係について、電子の授受との関係性を理解しながら学ぶ。 物質の精製から、応用例として災害時の飲料水確保を実習する。原水の含有イオンについて炎色反応で学ぶ。			
		2編 化学反応とエネルギー「化学Vol.1」 2章 電池と電気分解				金属のイオン化傾向について学ぶ。			
後期	10月	1編 物質の状態「化学Vol.1」 2章 気体の性質 第3回試験(化学基礎)				酸化還元反応の応用例として電池、逆反応として電気分解を取り上げ、その原理を理解する。ファラデーの法則を学ぶ。 物質の三態、ボイル・シャルルの法則は物理基礎で学ぶ。気体の状態方程式を学び、気体の体積、温度、圧力の関係を理解する。			
	11月	2編 化学反応とエネルギー「化学Vol.1」 第1回試験(化学)				物質に固有のエネルギー(化学エネルギー)が存在することを認識し、エネルギーの変化をエンタルピーを用いて表せるようにする。化学反応に伴い熱の出入りが生じることを理解する。			
	12月	3編 化学反応の速さと平衡「化学Vol.1」 第2回定期試験(第2回試験(化学))				各種化学平衡を学び、水溶液中の平衡の一例としてpHを理解する。数学Ⅱで指数・対数計算が修了するのを待った。			
冬休み						溶解のしくみを学び、溶解度、濃度を使いこなせるようにする。希薄溶液の性質、コロイドの性質を理解する。			
後期	1月	4章 固体の構造 5編 無機物質「化学Vol.2」 2～5章 元素				さまざまな結晶を通し、固体中の粒子がどのような配列構造をとるのか学ぶ。 各種元素の物性を学ぶ。周期律と関連して、同族元素、遷移金属間の類似反応等を体系的に学ぶ。			
	2月	硫黄(防災教育)				硫化水素の危険性と回避を学ぶ。			
	3月	第3回定期試験(第3回試験(化学))							
春休み									

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週2時間	教材	化学基礎 化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編(東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年10組 (国士舘大学進学クラス理系)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	第1編 化学と人間生活「化学基礎」 物質の成分と構成元素			物質を分類し、その成分の構成粒子について理解する。				
	5月	第2編 物質の構成「化学基礎」 原子の構造と元素の周期表・化学結合			原子の構造を理解し、各元素の化学的性質と分類方法を理解する。				
	6月	第1回試験(化学基礎) 第3編 物質の変化「化学基礎」 原子量・分子量・式量・物質質量 溶液濃度・化学反応式			イオン結合、共有結合、金属結合のしくみと性質を理解し、組成式、電子式、構造式を表記できるようにする。化学結合の違いから物質を分類できるようにする。 原子や分子の相対質量と原子や分子の質量、個数を扱う方法を理解する。 必要な物質質量を得る溶液の作成方法と使用方法を学ぶ。物質の変化と原子の組み換えを理解する。化学反応を式で表記できるようにし、その量的関係を理解する。				
	7月	第1回定期試験(第2回試験(化学基礎))							
	夏休み								
前期	9月	酸と塩基 酸化還元反応 物質の成分と構成元素(防災教育)			酸と塩基、中和の量的関係、滴定の器具、操作について学ぶ。 酸化還元反応における量的関係について、電子の授受との関係性を理解しながら学ぶ。 物質の精製から、応用例として災害時の飲料水確保を実習する。原水の含有イオンについて炎色反応で学ぶ。				
		2編 化学反応とエネルギー「化学Vol.1」 2章 電池と電気分解			金属のイオン化傾向について学ぶ。				
後期	10月	1編 物質の状態「化学Vol.1」 2章 気体の性質 第3回試験(化学基礎) 2編 化学反応とエネルギー「化学Vol.1」 第1回試験(化学)			酸化還元反応の応用例として電池、逆反応として電気分解を取り上げ、その原理を理解する。ファラデーの法則を学ぶ。 物質の三態、ボイル・シャルルの法則は物理基礎で学ぶ。気体の状態方程式を学び、気体の体積、温度、圧力の関係を理解する。 物質に固有のエネルギー(化学エネルギー)が存在することを認識し、エネルギーの変化をエンタルピーを用いて表せるようにする。化学反応に伴い熱の出入りが生じること理解する。				
	11月	3編 化学反応の速さと平衡「化学Vol.1」 第2回定期試験(第2回試験(化学))			各種化学平衡を学び、水溶液中の平衡の一例としてpHを理解する。数学Ⅱで指数・対数計算が修了するのを待った。				
	12月	1編 物質の状態「化学Vol.1」 3章 溶液の性質			溶解のしくみを学び、溶解度、濃度を使いこなせるようにする。希薄溶液の性質、コロイドの性質を理解する。				
	冬休み								
後期	1月	4章 固体の構造 5編 無機物質「化学Vol.2」 2～5章 元素			さまざまな結晶を通し、固体中の粒子がどのような配列構造をとるのか学ぶ。 各種元素の物性を学ぶ。周期律と関連して、同族元素、遷移金属間の類似反応等を体系的に学ぶ。				
	2月	硫黄(防災教育) 第3回定期試験(第3回試験(化学))			硫化水素の危険性と回避を学ぶ。				
	3月								
	春休み								

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組(男子)								
時期		項目				到達目標			
前期	天候などの条件により実施内容が変わることもあります。	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ 【走り高跳び】 1) 踏み切り動作、跳躍力、踏み切り 2) 空中動作（ペリーロール） 3) 助走～踏み切り～空中姿勢～着地 (スムーズな一連の動きとリズム) 4) 試験				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 体力・運動能力の状態を確認するためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。 助走を生かした踏み切りや、バーを越える技能を高め、自分の記録に挑戦したり、競争しあって記録を高める。			
		【サッカー】 1) 基本的技能 ① リフティングおよび各種のキック ② パス練習(グリッド内での3対1、4対2) ③ ドリブル、シュートの練習 2) 集団的技能 ① ミニゲーム(3対3、5対5の攻防) ② ミニゲーム(7対7の攻防) 3) ゲーム・ルール 【バスケットボール】 1) 個人的技能 ① ドリブル各種 ② シュート各種 ③ 移動しながらのパス 2) 集団的技能 ① アウトナンバーでの攻防(2対1、3対2) ② マンツーマンディフェンスでの攻防(3対3、5対5) 3) ゲーム 【ダンス】 1) 基本的運動 ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2～3群で方向、時間を変える。 3) 動作の連続 ・フレーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験				個人的技能をもとに、攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームができるようにする。 グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できることと、表現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。			
後期	年間を通して右記の内容を行います。クラスにより、実施内容の順番が異								

教科		保健体育		科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)		種 別	高校
学年 組 類型		高等学校2年2組～9組(女子)										
時期		項目						到達目標				
前 												

教科	保健体育	科目	保健	授業 時数	週1時間	教材	新高等保健体育 （大修館書店）	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	<ガイダンス> 第2章 安全な社会生活 4. 応急手当の意義と救急医療体制 5. 心配蘇生法 6. 日常的な応急手当				【防災教育】 応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用法について理解する。 心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 心肺蘇生法ができるようにする。 日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。			
	5月	3. 安全な社会の形成 第3章 生涯を通じる健康 1. 思春期と健康				【防災教育】 安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解する。 思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。 思春期に起こりやすい健康課題について理解する。			
	6月	2. 性意識の変化と性行動の選択 3. 結婚生活と健康				自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解する。 結婚生活と健康との関係について理解する。 結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解する。			
	7月	【第1回 定期試験】							
夏休み		レポート課題							
前期	9月	4. 妊娠・出産と健康				受精、妊娠、出産の過程と、それに伴う健康課題について理解する。 妊娠・出産期に活躍できる母子保健サービスについて理解する。			
後期	10月	5. 家族計画 6. 加齢と健康				家族計画の意義について理解する。 人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。 加齢による心身の変化や、高齢期の健康について理解する。 若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。			
	11月	7. 高齢社会に対応した取り組み 8. 働くことと健康 9. 労働災害の防止				高齢社会における健康課題について理解する。 高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。 働くことの意義と働き方の多様化について理解する。 働く人における健康問題について理解する。 労働環境の変化に伴い、労働災害の要因も変化していることを理解する。 労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解する。			
	12月	【第2回 定期試験】 10. 働く人の健康づくり				職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解する。 働く人の健康には余暇の活用など生活の質の向上も重要であることを理解する。			
	冬休み								
	1月	第4章 健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康				大気汚染による健康への影響について理解する。 地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。			
	2月	2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 健康被害を防ぐための環境対策				水質汚濁による健康への影響について理解する。 土壌汚濁による健康への影響について理解する。 環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。 産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解する。			
	3月	4. 環境衛生に関わる活動				安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題について理解する。 生活環境を保全するためのごみ処理の現状と、今後の課題について理解する。			
春休み									

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	柔道教本 (共栄出版)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期		学習のねらい				「精神善用・自他協栄」という柔道の精神を学び、その意義を日常生活に生かす態度を養う。基本動作を確実に身につけ、さらに発展させ個々に応じて対人的、技能を図る。また、禁じ技を用いないなどの禁止事項を守り、安全に留意する態度を養う。全て安全最優先で行う。			
	4月	柔道の歴史 (女子)護身術・組みつかれた場合7本・離れた場合5本・計12本				投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。			
	5月	(男子)投げ技→背負い投げ(一本背負い投げ)を含む・大外刈り・足技 (女子)護身術 組みつかれた場合7本				取は動きながら技に入るタイミングや安全に留意して投げ込みを行う。			
	6月	約束練習 (女子)護身術 組みつかれた場合7本				(男子)送足払い・大外刈り 相手に配慮する投げ方・受身の取り方・を評価する。(女子)7本の動作、取・受のメリハリ、呼吸が合っているかを評価する。			
	7月	試験							
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 投げ技(大内刈り)				安全な経路の確認、自助について学ぶ			
		背負い投げ・体落とし・大外刈り 復習・応用				崩しの原理をしっかりと理解して行う。			
		自由練習の復習、確認				投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。			
		(女子)護身術 組みつかれた場合7本の復習と新たに離れた場合の5本				(女子)取・受のメリハリをつける。間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。			
後期	10月	投げ技→連絡技 大内刈り→背負い投げ 大内刈り→体落とし				崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。			
	11月	自由練習の復習、応用				自由練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。			
		(女子)護身術 離れた場合5本の復習				(女子)離れた場合5本を通して行い、取・受のメリハリをつける。間の取り方、取・受の呼吸を合わせる。			
		試験				(男子)大内刈り→背負い投げ相手に配慮をする投げ方、受け方・連絡のタイミングを評価する。 (女子)離れた場合5本を通して行い、取・受のメリハリや間合いの取り方、呼吸の合わせ方を評価する。			
	12月	投げ技→連絡技 大内刈り→背負い投げ 大内刈り→体落とし				崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。 連絡技へのタイミングを覚える。			
冬 休 み									
後期	1月	自由練習(乱取り) 寝技 立技				初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。			
		(女子)護身術 組み付かれた場合7本・離れた場合5本 計12本 復習				(女子)12本を通して行い、取・受のメリハリをつける。間の取り方、取・受の呼吸を合わせる。			
	2月	ルールについて				ルールと禁止技を理解する。			
		一年間の復習・応用							
	3月	試験				(男子)授業で習った技の中から技を指定して相手に配慮をする。投げ方・受身の取り方を評価する。 (女子)護身術12本を通して行い、取・受のメリハリや間合いの取り方、呼吸の合わせ方を評価する。			
春 休 み									

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	《ガイダンス》 2年次の授業内容・学習のねらい				武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しくお互いに相手を尊重する心を養う。着装、防具のつけ方に留意して身だしなみに気をつける。			
	5月	切り返し				動きの中から正しい姿勢、正しい打ちを身につける。			
	6月	基本打ち…面・小手・胴 小手面・小手胴二段打ち 小手面胴三段打ち				打突前の集中力と打突後の残心を徹底させる。 正しい姿勢で全身を使って打ち切る。			
	7月	試験				小手面・小手面胴三段打ち			
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方				安全な経路の確認、自助について学ぶ			
		相手の動きに応じた面・小手・胴打ち				相手の動きに応じた基本打突を身に付ける			
後期	10月	鍔ぜり合い…引き胴・引き面				送り足、または開き足で、後方または斜め後方に引きながら胴を打たせる。			
	11月	互角稽古 試験				一定時間に技を出し合う稽古です。防御や判定にこだわらず、一生懸命技を出せるか練習、実際に試合を行うつもりでフェイント、タイミング、スタンス、距離、気迫、間合い、見切りなど考える			
	12月	互角稽古							
冬 休 み									
後期	1月	応じ技…面抜き胴・小手抜き面・面抜き面				相手の技に対して応じ、その技をかわして打つ技であることを理解させる。			
	2月	互角稽古							
	3月	試験							
春 休 み									

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	授業 時数	週2時間	教材	MOUSA 1 (教育芸術社) 久石譲:Spirited Away (全音楽譜出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組								
時期		項目				到達目標			
前期		オリエンテーション 歌唱「館歌」 歌唱「負けないで」 歌唱「夏の思い出」 楽典Ⅰ「音部記号,拍子記号,音名」 楽典Ⅱ「音符と休符,反復記号」 楽典Ⅲ「変化記号,異名同音,音階」 オーケストラを知ろう 実技試験 筆記試験				国士館生として、館歌について深く理解しながら歌う。 拍子によって、響きのある声で歌う。 歌い継がれた日本の歌を、言葉を大切にして歌う。 音楽の基礎知識を身につける。 楽器の分類や特徴を理解し、響きの関わりを感じ取る。			
後期		歌唱「島唄」 歌唱「小さな空」 映画音楽の世界「千と千尋の神隠し」 鑑賞「ケルティック・チャイルド」 器楽合奏 災害時における音のはたらき 発表 実技試験 筆記試験				歌詞の意味を理解し、感情を込めて歌う。 和音の変化を感じ取り、情景を思い浮かべて歌う。 映画における音楽の効果を分析する。 作品の作曲背景と吹奏楽の響きの関わりを感じ取る。 自分のパートの役割を理解して演奏する。 防災と音の関わりについて学ぶ。			
年間		鑑賞「Sing」 鑑賞「グレイテスト・ショーマン」 鑑賞「千と千尋の神隠し」				動画と音楽の関わりを感じ取る。			

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	授業 時数	週2時間	教材	美術Ⅰ （日本文教出版）	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	鉛筆デッサンについて学ぶ				基本となるデッサンの技術を体得し、立体の描写ができるようになる。			
	5月～6月	色彩について学ぶ				絵の具を用いて色彩の効果や混色について理解できるようになる。			
夏 休 み									
前期	9月	「防災」について				防災ポスターを制作したり、他者の作品を鑑賞することで、災害に対する危機管理能力を高める。			
後 期	10月～12月	「音」をテーマに作品を制作する				平面・立体・映像など、「音」を表現する様々な媒体について学習する。			
冬 休 み									
後 期	1月～3月	技法・技術を学ぶ				伝統工芸・コラージュ・金属加工など、様々な技法、技術を学習する。			
		〈使用画材・教材〉 鉛筆・練り消し・透明水彩・アクリル絵具・筆・画用紙・スタイロフォーム・金属加工道具・木工道具 等							

教科	芸術	科目	書道 I	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書 I 701	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～10組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	書写から芸術書道へ。姿勢と執筆法。 基本点画の練習用具用材。漢字仮名交じりの書。さまざまな書。執筆法。表現と鑑賞。				芸術書道に親しむ。 体験的学習活動を通じて書を愛好する心情を育む。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。			
	5月	防災の用語を書く。 漢字の書。書体の変遷。楷書とその古典。唐の四大家。臨書について。表現と鑑賞。				防災の用語を書くことで、防災に関する意識を高める。 書の美を探究。 基本的用筆と表現方法。臨書の理解。楷書の理解。露鋒、蔵法、背勢、向勢の理解。			
	6月	楷書の臨書。表現と鑑賞。唐の四大家。日本の楷書。				それぞれの古典の持つ特徴の理解。拡大表現による表情の違いを認識。			
	7月	楷書の臨書。表現と鑑賞。日本の楷書。				時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。			
夏 休 み		鑑賞。				日常の中での様々な書体を知る。			
前期	9月	行書とその古典。行書の臨書。表現と鑑賞。				それぞれの古典の持つ特徴の理解。			
後期	10月	行書とその古典。行書の臨書。草書、隷書、篆書。				それぞれの古典の持つ用筆法と特徴の理解。			
	11月	草書、隷書、篆書。				様々な書体の特徴を理解し、表現力を養う。			
	12月	仮名の書。平仮名と変体仮名。連綿。 仮名の古典。 表現と鑑賞。				仮名の成立過程の理解。逆入れ、平出し、蔵法、八分、50音というは歌の違い。基本線の反復練習。変体仮名の理解。単体の反復練習。			
冬 休 み		鑑賞。				日常の中での様々な書体を知る。			
後期	1月	仮名の書。連綿。 仮名の古典。 表現と鑑賞。				連綿線の反復練習。表現方法と中心線の役割の理解。			
	2月	漢字仮名交じりの書。表現と鑑賞。				漢字の線質と平仮名の線質との調和と工夫、そしてその基本的関係の理解。題材による情景の表現。用具用材による表現の違い。日常生活に書を生かす。			
春 休 み									

教科	英語	科目	英語 コミュニケーションⅡ	授業 時数	週4時間	教材	LANDMARK Fit Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年1組 (文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan				○海外の視点から見た日本の不思議について必要な情報を読み取り、漫画の内容について自分の考えを伝える力をつける。			
	5月								
	6月	Lesson2 A Message from Emperor Penguins				○コウテイペンギンの生態について必要な情報を読み取り、関心のある動物について自分の考えを伝える力をつける。			
	7月	第一回定期試験(Lesson 1,2)							
夏休み	7月	夏休みの課題				まとめ問題			
	8月								
前期	9月	Lesson3 Tokyo's Seven - minute Miracle ◎英検対策				○新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて必要な情報を読み取り、日本の誇れることについて自分の考えを伝える力をつける。 ◎英語検定一次試験に向けた、筆記試験やリスニング問題演習を行い合格を目指す。			
後期	10月	Lesson4 Seeds for the Future				○タネの保全のための活動と取り組みについて必要な情報を読み取り、自分の関心があることについて自分の考えを伝える力をつける。			
	11月								
	12月	SDGs06				○防災に関する学習を行い、「生きる力」を育む。			
	第二回定期試験(Lesson 3,4)								
冬休み	12月	冬休みの課題				まとめ問題			
	1月								
後期	1月	Lesson5 Gaudi and His Messenger				○ガウディと外尾悦郎さんについて必要な情報を読み取り、歴史的建造物について発表できる力をつける。			
	2月								
	3月	第三回定期試験(Lesson 5,6)				○江戸時代の持続可能な社会について必要な情報を読み取り、自分たちが無駄にしているものについて発表できる力をつける。			
春休み	3月	春休みの課題				2年生の復習			
備考		副教材として次のものを授業で使用する。				Workbook/サブノート スタディサプリEnglish			

教科	英語	科目	英語 コミュニケー ションⅡ	授業 時数	週5時間	教材	ELEMENT English CommunicationⅡ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 高等学校 高等学校	2年2組(選抜クラス) 2年3組(理系コース) 2年4組(文Ⅰコース)							
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 Cultures around the World				◇ 4技能を育成 ① Reading 教科書で精読技術を磨き、『SKYWARD OCEAN Course 最新入試英語長文20選』で速読の力を養う。プリントで随時多読を行い、読解力、語彙力、文化理解、そして様々な分野の周辺知識を身に付ける。加えて2組は『入門英文解釈の技術70』から毎日一題を宿題で取り組む。 ② Listening 教材の音声を利用しリピーティング、シャドーイングを行う。WPMを意識しながら、情報処理能力を高める。補助教材「スタディサプリENGLISH」を使用。 ③ Speaking ALTの授業(週1回)で日常英会話の訓練をする。英語を他人に伝える訓練を通して英語を話すことに対する心理的ハードルを下げ、「スタディサプリENGLISH」を使用してアウトプットの練習を行う。 ④ Writing 各単元で質問に対する答え方を学ぶ。また本文の内容を自分の言葉で説明する力を養う。			
	5月	Lesson 2 Power of Words							
	6月	5月中旬 GTEC Basic/Advanced Lesson 3 Preconception							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉							
前期	9月	Lesson 4 The Century of War				◇ 検定 ① 実用英語技能検定準2～2級取得を目指す ・語彙力の養成 →『でる順 バス単2級』を使用。朝学習で1日40単語のテストを週4回実施。 →『英熟語ターゲット1000』で熟語力を養う。2組は週2回、3・4組は週1回実施。 ・リスニング力を養う。 →「スタディサプリENGLISH」を使用し、多様な問題に取り組む。 ・実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。			
後 期	10月	Lesson 5 How Our Minds Work 10月3日(金) 実用英語技能検定				② GTEC CEFR A2.1～B1への到達 ・リスニング力、スピーキング力を養う。 →「スタディサプリENGLISH」並びにGTECの教材を基本として、多様な問題に取り組む。 ・実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。			
	11月	Lesson 6 IT and Life 第2回定期試験							
	12月	12月中旬 GTEC Basic/Advanced Lesson 7 Advances in Medical Technology							
冬 休 み		〈冬休み課題〉							
後 期	1月	Lesson 7 Advances in Medical Technology				◇ 防災 ・Lesson4終了後、本文の内容を発展させ、防災について扱う			
	2月								
	3月	第3回定期試験							
春 休 み		〈春休み課題〉							

教科	英語	科目	英語 コミュニケーション Ⅱ	授業 時数	週 4時間	教材	LANDMARK English Communication Ⅱ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組 (文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan スウェーデン女子の日本発見				○海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、補語になる分詞のSVOC(Cが分詞)と補語になる分詞のSVCの意味や構造を理解する。			
	5月	Lesson 2 A Message from the Emperor Penguins コウテイペンギンからのメッセージ Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle 東京の7分間の奇跡 第一回定期試験(Lesson 1, 2, 3)				○コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了、比較を使用した構文の意味や構造を理解する。			
	6月					○新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、強調のための倒置や形式目的語のitの意味や構造を理解する。			
	7月								
	夏休み	7月	夏休みの課題				まとめ問題		
8月									
前期	9月	Lesson 4 Seeds for the Future 未来への種				○種の保全のための取り組みについて書かれた文章を読み、付帯状況を表すwithや使役動詞の意味や構造を把握する。 ◎英語検定一次試験に向けた、筆記試験やリスニング問題演習を行い合格を目指す。			
後期	10月	Lesson 5 Language Change over Time 言語の経年変化				○時間とともに変化する言葉について書かれた文章を読み、感想・意見・理由などを尋ねる疑問詞で始まる疑問文、同格のthatの意味や構造を理解する。			
	11月	第二回定期試験(Lesson 4, 5)							
	12月					◎防災に関する授業(他国との災害と防災の比較)			
冬休み	12月	冬休みの課題				まとめ問題			
	1月								
後期	1月	Lesson 6 Gaudi and His Messenger ガウディとその伝言者				○ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み、受動態の分詞構文やifを使わない仮定法の意味や構造を理解する。			
	2月	Lesson 7 Letters from a Battlefield 戦場からの手紙				○戦場からの手紙について書かれた文章を読み、副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や働きを理解する。			
	3月	第三回定期試験(Lesson 6, 7)							
春休み	3月	春休みの課題				2年生の復習			
備考		副教材として次のものを使用する。				1 LANDMARK English Communication Ⅱ サブノート 2 LANDMARK English Communication Ⅱ WORKBOOK			

教科	英語	科目	英語 コミュニケーションⅡ	授業 時数	週4時間	教材	LANDMARK Fit English Communication Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組 ～10組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan 文法: 不定詞・動名詞				文化を相対的にとらえ、異なる文化や価値観を受容できるようになる			
	5月	Lesson2 A Message from Emperor Penguins 文法: 完了形・受動態・間接疑問文				生き物の不思議に触れ、理系題材への興味関心を持つようになる			
	6月	Lesson3 Tokyo's Seven-minute Miracle 文法: 分詞・形式目的語				日本の文化を再発見し、職業観・勤労観を養う			
	7月	第1回定期試験 Lesson1～3				英語検定対策、リスニング問題等も各レッスンに取り入れる。また、防災に関連付けた授業を行う。			
夏休み	8月	夏休みの課題				既習事項の総復習			
前期	9月	Lesson4 Seeds for the Future 文法: 複合関係代名詞・分詞				生態系・生物多様性・食文化など様々なトピックを1つのテーマのもとに学ぶ			
後期	10月	Lesson5 Gaudi and His Messenger 文法: 分詞構文・付帯状況				世界的建造物にかかわった2人の人物の思いに迫る。			
	11月	Lesson6 Edo: A Sustainable Society 第2回定期試験 Lesson4～6				江戸時代における循環型社会について学ぶ			
	12月	文法: 関係代名詞・使役動詞・助動詞				英検のWriting問題演習や、各種英文読解も授業に取り入れ、多角的に英語を使う力の習得を目指す。			
		冬休みの課題				既習事項の総復習			
後期	1月	Lesson7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal 文法: 強調構文・分詞構文				自然再生エネルギーを軸にした地域循環型の街づくりについて学ぶ			
	2月	Lesson8 Our Future with AI 文法: 仮定法・関係代名詞				AIと人間の向き合い方について考え議論する			
	3月	第3回定期試験 Lesson7～8							
春休み						【副教材】 ・LANDMARK Fit ECⅡ WORKBOOK ・LANDMARK Fit ECⅡ サブノート			

教科	英語	科目	論理表現Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	Vision Quest E.E. I Standard・II Hope リードA 英語構文90	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年1組 (文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 10 関係詞				関係詞を使った表現を正しく身につける。			
	5月	5 関係詞を含む構文				関係詞を含む構文を覚える。			
	6月	Lesson 11 比較				比較を使った表現を正しく身につける。			
		10 比較構文				比較構文を覚える。			
		3 分詞を含む構文				分詞を含む構文を覚える。			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み	8月								
前期	9月	Lesson 12 仮定法				仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こりえないことを表現することができる。			
		8 仮定法を含む構文				仮定法を含む構文を覚える。			
後 期	10月	Lesson 1 適切な主語を用いる				適切な主語を用いて英文を構成する。			
	11月	1 Itを含む構文 / 2 不定詞を含む構文				Itを含む構文、不定詞を含む構文を覚える。			
		Lesson 2 適切な動詞を用いる				自動詞と他動詞を理解する。			
	12月	第2回定期試験							
		4 動名詞を含む構文				動名詞を含む構文を覚える。			
冬 休 み									
後 期	1月	Lesson 3 時を表す				適切な時制を用いて英文を構成する。			
	2月	6 否定構文 / 7 助動詞を含む構文				否定構文、助動詞を含む構文を覚える。			
		Lesson 4 義務・必要推量を表す				適切な助動詞を用いて英文を構成する。			
		9 接続詞を含む構文 / 11 譲歩構文				接続詞を含む構文および譲歩構文を覚える。			
	3月	第3回定期試験							
備 考						・防災に関する内容を授業内で取り入れる。			

教科	英語	科目	論理表現Ⅱ	授業 時数	週3時間	教材	Vision Quest English Logic and Expression I Standard ・Ⅱ Hope	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 高等学校 高等学校	2年2組(選抜クラス) 2年3組(理系コース) 2年4組(文Ⅰコース)							
時期		項目				到達目標			
前期	4月	『Vision Quest English Logic and ExpressionⅠStandard』 ※1年生からの継続使用テキスト				◇「書くこと」、「表現すること」の力を育成 ① 文法を正確に理解しアウトプットする。段階的に論理立てたライティングを訓練していく。補助教材として『リード問題集英文法A』を使用。2組は『リード問題集英文法B』も使用していく。 ② 『英語構文90』を使用し、英語でよく使われる文の構造を習得する。これを基にライティングによる自己表現に繋げていく。 ③ 教科書と並行して準拠教材である『Vision QuestⅡ Hope WORKBOOK』を使用する。教科書の理解を深め、基本から応用へとつながる英語力を養っていく。 ◇ 検定 ① 実用英語技能検定で準2級～2級の取得 ・ 語彙力を養う。 → 『でる順パス単2級』の内容を朝学習で1日40～50単語のテスト実施。 → 『英熟語ターゲット1000』で熟語力を養う。2組は週2回、3・4組は週1回実施 ・ リスニング力を養う。 → スタディサプリENGLISHを使用し、多様な問題に取り組む。 ・ 実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。 ② GTECCEFR A2.1～B1への到達 ・ リスニング力、スピーキング力を養う。 → GTECの教材を基本として、スタディサプリEnglishを使用し、多様な問題に取り組む。 ・ 実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。			
	5月	Lesson 9 Digital media has come a long way.							
	6月	Lesson 10 That's why I decided to go back.							
	7月	【第1回定期試験】							
夏 休 み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉							
前期	9月	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?							
後期	10月	Lesson 12 I think it's a good idea.							
	11月	【第2回定期試験】							
	12月	『Vision Quest English Logic and ExpressionⅡ Hope』 Lesson 1 Expressing							
冬 休 み		〈冬休み課題〉							
後期	1月	Lesson 1 Expressing				◇ 防災 ・Lesson12終了後、本文の内容を発展させ、防災について扱う			
	2月	Lesson 2 What school events do you have?							
	3月	【第3回定期試験】							
春 休 み		〈春休み課題〉							

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	Vision Quest English Logic and Expression I / II (Hope)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組(文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	『Vision Quest English Logic and Expression I Standard』 ※1年生からの継続使用テキスト				・名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。 ・関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。			
	5月	Lesson 9 〈分詞〉 Digital media has come a long way.							
	6月	Lesson 10 〈関係詞〉 That's why I decided to go back.							
	7月	【第1回定期試験】							
夏 休 み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉							
前期	9月	Lesson 11 〈比較〉 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?				・比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する。			
後期	10月	Lesson 12 〈仮定法〉 I think it's a good idea.				・仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる。			
	11月	『Vision Quest English Logic and Expression II Hope』 Lesson 1 〈主語の選択〉 What is your future goal?				◇ 防災 ・Lesson12終了後、本文の内容を発展させ、防災について扱う。			
	12月	【第2回定期試験】				・適切な主語の選択方法について学ぶ			
冬 休 み		〈冬休み課題〉							
後期	1月	Lesson 2 〈動詞の選択〉 What school events do you have?				・適切な動詞の選択方法について学ぶ			
	2月	Lesson 3 〈時の選択〉 Who is the best athlete?				・適切な時の表現方法について学ぶ			
	3月	【第3回定期試験】				副教材 【高校リード問題集 英文法A ※1年時より継続】 【基礎を固める 英語構文ノート90】			
春 休 み		〈春休み課題〉							

教科	英語	科目	論理表現Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	Vision Quest English Logic and Expression I Standard /Ⅱ Hope	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組～10組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	『Vision Quest English Logic and Expression I Standard』 ※1年生からの継続使用テキスト				・様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。 ・動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を用いた多様な文で伝える。 ・名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。			
	5月	Lesson 7 I'm happy to have you with us.							
	6月	Lesson 8 What sport do you like playing?							
	7月	Lesson 9 Digital media has come a long way.							
	【第1回定期試験】								
夏 休 み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉							
前期	9月	Lesson 10 That's why I decided to go back.				・関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。			
後期	10月	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?				・比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する。			
	11月	Lesson 12 I think it's a good idea.				・仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる。			
	12月	【第2回定期試験】							
冬 休 み		〈冬休み課題〉							
後期	1月	以下のテキストも用いて重要な文法や構文を総復習し、ライティングやスピーキング等の表現活動を行う。 『Vision Quest English Logic and Expression II Hope』				◇ 防災 ・本文の内容を発展させ、防災について扱う。			
	2月	『基礎を固める英語構文ノート90』							
	3月	【第3回定期試験】							
春 休 み		〈春休み課題〉							

教科	情報	科目	情報Ⅰ	授業 時数	週2時間	教材	図説情報Ⅰ (実教出版)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年9組～10組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	・ガイダンス ・情報社会と私たち:教科書・序章(p4～p9) ・Word使い方				・これから学ぶ情報の重要性について理解する。情報のもつ特性から情報の正しい扱い方を理解する。 ・Wordを用いて文字入力の仕組みと方法を理解させ、文字の配置やフォント、サイズ、種類の変更罫線の引き方やその体裁の整い方などを説明し、十分に練習する。			
	5月	・情報社会と問題解決:教科書・第1章(p12～p38) ・Excel使い方				・情報を適切に収集、分析し問題解決に役立てることができる。自分の持っている情報の重要性や知的財産権等の権利について理解する。 ・Excelを用いてわかりやすい表の作成方法を身に着ける。関数を用いた自動計算の方法を身に着ける。			
	6月	・コミュニケーションと情報デザイン:教科書・第2章(p40～p64) ・PowerPoint使い方				・メディアの特性について理解し、メディアリテラシーを身に着ける。情報デザインについて理解し、効率的な情報伝達の手法を身に着ける。 ・PowerPointを用いて自分の考えを効率的に伝える手法を身に着ける。			
	7月	第1回定期試験:教科書・序章～第2章、実技							
夏 休 み	8月								
前期	9月	・情報とコンピュータ:教科書・第3章(p66～p94)				・デジタルデータの表現手法を理解する。2進数について理解する。PCの構造について理解する			
後期	10月	・アルゴリズムとプログラム:教科書・第4章(p96～p113) ・Scratch(プログラミング)				・アルゴリズムの基本構造について理解し、問題解決に役立てる手法を身に着ける。プログラミングの基本について理解する。 ・プログラミングの基本的な構造や手法を身に着ける。			
	11月	・モデル化とデータ活用:教科書・第5章(p116～p140) ・Scratch(プログラミング) 第2回定期試験:教科書・第3章～第5章、実技				・モデル、シミュレーションの目的と手法を身に着ける。より高度なデータの収集と分析の手法を身に着ける。 ・Scratchでのゲーム制作を通して、より高度な論理的思考力を身に着ける。			
	12月	・Scratch(プログラミング)				・配列、リスト、関数、繰り返し処理、条件分岐について理解する。			
冬 休 み	1月								
後期	1月	・ネットワークと情報システム:教科書・第6章(p142～p164) ・Python(プログラミング)				・ネットワークの構造やインターネットについて理解し、情報通信の仕組みについて理解する。情報セキュリティについて理解し、正しくネットを扱う手法を身に着ける。 ・Scratchで行ったことをPythonで再現し、プログラミングについてより理解する。			
		・防災学習				・災害時のネット利用について知識を深める。			
	2月	・情報モラル & セキュリティp84～p88 ・Python(プログラミング)				・日常生活における情報のモラルやマナーについて理解する。 ・日常生活に存在する様々な事柄をプログラムをすることを通じてプログラミングについての知識をより深める。			
	3月	第3回定期試験:教科書・第6章、情報モラル & セキュリティp84～p88、実技							
春 休 み									